

三線の花

二揚

3/3

一、いつしか忘れられた
の三線 オジの形見
床の間に誕生祝いの 鳥酒にもたれ
て

二、テレビの斜め向かいの あなたが居

た場所に

座ればアルミの窓から 夕月が昇る

ほこりを指でなでて ゆるんだ糸を
巻けば
退屈でたまらなかった 鳥唄が響い
た

家族を眺めながら 飲む酒はどんな

味 眠りにつく前の 唄は誰の唄

鮮やかによみがえる あなたと過ご
した日々は
やわらかな愛しさで この胸を突き
破り

喜びも悲しみも いつの日か唄える
なら

この島の土の中 秋に泣き冬に耐え
春に咲く 三線の花

咲いたのは 三線の花

三、この空もあの海も 何も語りはしな
い

この島に暖かな 風となり雨を呼び
咲いたのは 三線の花

秋に泣き冬に耐え 春に咲く 三線
の花